

平成29年度環境への取り組み結果

(平成29年から平成31年の3ヵ年計画:初年度版)

《ISO14001:2015認証取得工場:伊勢工場群の結果》



ISO14001事務局

平成30年4月

平成29年度の取り組み

●平成29年度環境目的

1. 地球温暖化防止のため、生産時のエネルギー使用量（原油換算値）を3年間で3.0%削減（H28年比、生産高比）します。
2. 製品のライフサイクルで発生する炭酸ガスの発生抑制をします。
3. 水質汚濁を定められた値の60%にします。
4. P R T R物質の使用量を3年間で3.0%削減（生産高比）します。（平成28年度値をベンチマークとします。）
5. 一般廃棄物、産業廃棄物を3年間で3.0%削減（生産高比）します。（平成28年度値をベンチマークとします。）
6. 地球保全の重要性を高揚するため、地域活動を活発にすると同時に、省エネに努めます。

●平成29年度環境目標

1. 炭酸ガス発生量削減のため、次の事柄を実施し1.0%（H28年比、生産高比）削減します。
 - ①室温管理を徹底し省エネします。（冬季18℃夏季28℃）
 - ②不要機器の電源切断、エア漏れ防止など節電に努めます。
 - ③ 機器の省エネ化を推進します。
2. 新製品について、7%以上の長寿命化を行います。
主要材料・資材の使用率を向上し、材料による炭酸ガス発生量を減らします。
ムダの排除活動を推進します。
3. 水質汚濁を定められた値の60%にします。
4. P R T R物質については、1.0%（H28年比、生産高比）削減します。
5. 廃棄物については、次の事を行い、1.0%（H28年比、生産高比）削減します。
 - ①一般廃棄物 プラスチック、紙の分別を徹底し、一般廃棄物の削減を図ります。
 - ②産業廃棄物の発生抑制を推進します。
 - ③産業廃棄物の再利用化・再資源化を推進します。
6. 環境保全のための地域社会への貢献活動を4回／年、します。（5月、7月、9月、11月）
地方自治体等からの環境保全活動の要請に対し積極的に参加します。
全ての従業員はアイドリングストップなどの省エネルギーに努めます。

《炭酸ガスの発生量》 目標に対する結果 (I)

【年度目標】 エネルギー使用量の削減 ≪原油換算値で基準年度より1.0%削減（生産高比）≫

※生産高比（係数）とは、使用量や排出量が生産変動による影響が大きく起因することから、それぞれの使用・排出量を工場生産量などの要素で比率を求めた数値です。

◆目標に対する結果

	玉城工場 使用量kl	伊勢工場 使用量kl	ドアクローザ 使用量kl	伊勢工場群 使用量kl	生産高比 目標	結果	削減率	結果
28年度 (基準)	4,892	379	898	6,168	0.599 (基準)	*	*	*
29年度	4,948	354	908	6,210	0.593	0.567	-5.4%	目標達成

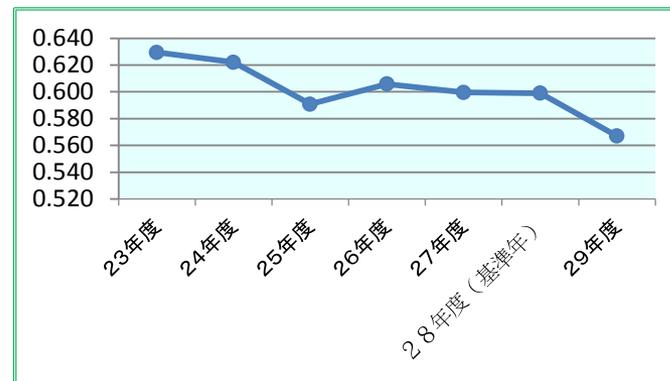
●結果：

- ・基準年度より、生産が増加（+6.4%）しましたが、エネルギーの使用量は、微増（+2.1%）にとどまり、目標を達成いたしました。
- ・機器更新時に省エネを考慮した物への切替を推進したことや生産工程で、運転のムダ排除活動の効果がありました。

◆過去からの状況

	玉城工場 kl	伊勢工場 kl	ドアクローザ kl	伊勢工場群 kl	生産高比
23年度	4,100	1,267	930	6,296	0.629
24年度	4,051	1,293	913	6,256	0.622
25年度	4,239	1,171	959	6,369	0.591
26年度	4,252	1,129	918	6,298	0.606
27年度	4,323	992	844	6,159	0.600
28年度（基準）	4,892	379	898	6,168	0.599
29年度	4,948	354	908	6,210	0.567

◆過去からの状況変化（原単位推移）



《工場排水/水質汚濁》 目標に対する結果（Ⅱ）

【年度環境目標】

水質汚濁を定められた値の60%にします。

工場の排水口における毎月分析した結果の最大値と平成29年の平均値を示します。

◆玉城工場

分析は外部の計量証明機関で実施し、単位はmg/ℓ

	健康項目			生活環境項目(金属類)				生活環境項目						
	6価クロム	全シアン	ジクロロメタン	全クロム	銅	亜鉛	溶解性鉄	BOD	COD	SS	ヘキサシアン	全窒素	全リン	
水質汚濁防止法	0.5	1	0.2	2	3	2	10	120	120	150	5	60	8	
協定	0.05	0.05	*	0.1	0.05	1	0.5	10	10	5	1	10	1	
平成29年	最大	N.D	N.D	N.D	0.01	0.05	0.78	N.D	1.7	4	1	N.D	3.4	N.D
	平均	N.D	N.D	N.D	0.00	0.03	0.22	N.D	0.74	2.6	0	N.D	1.7	N.D

N.Dは定量下限値未満

●結果と対応

- 排水処理装置の運転・管理と各項の物質使用部門での適切な運用により、全ての項目で協定値を遵守いたしました。
- 銅成分の発生要素となる廃水を出す設備の特定を行い、対応策を進め対策を完了をしております。

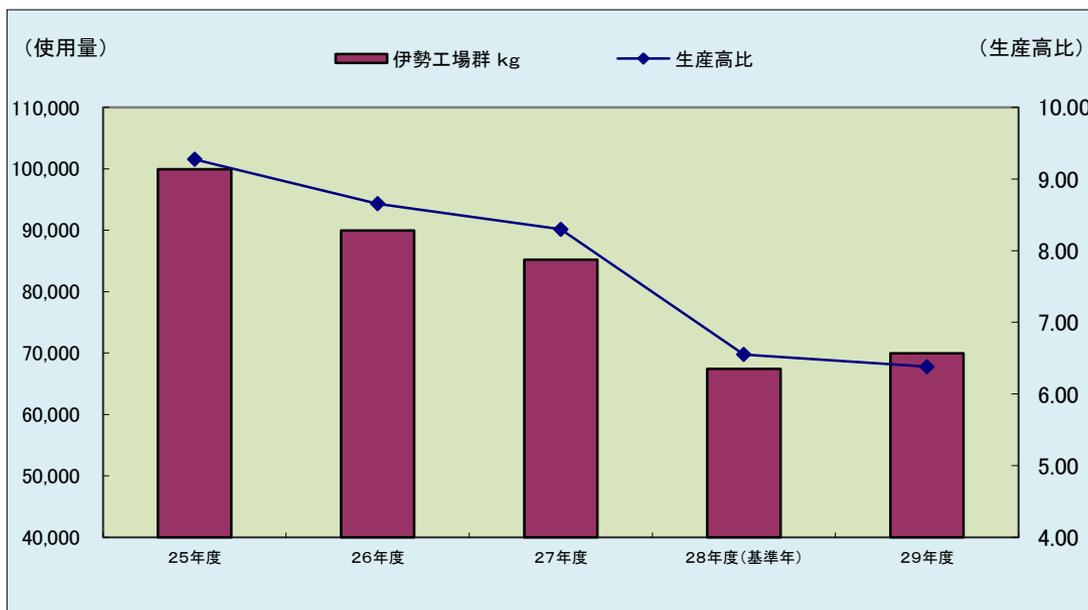
《PRTR物質の削減》 目標に対する結果（Ⅲ）

【年度目標】 PRTR物質使用量の削減 ≪基準年度より1.0%削減（生産高比）≫

◆目標に対する結果（伊勢工場群全体）

	使用量 (kg)	計画		結果		
		削減率	目標生産高比	削減率	(生産高比)	
28年度 (基準)	67,408	*	6.55 (基準)	*	*	*
29年度	69,931	-1.00%	6.48	-2.5%	6.38	目標達成

◆PRTR物質使用量の変化



●結果：

- 基準年度より生産が増加（+6.4%）しましたが、使用量は微増（+3.7%）にとどまり、目標を達成いたしました。
- 洗浄工程の見直しと手順の見直しにより、使用量が少なくなりました。

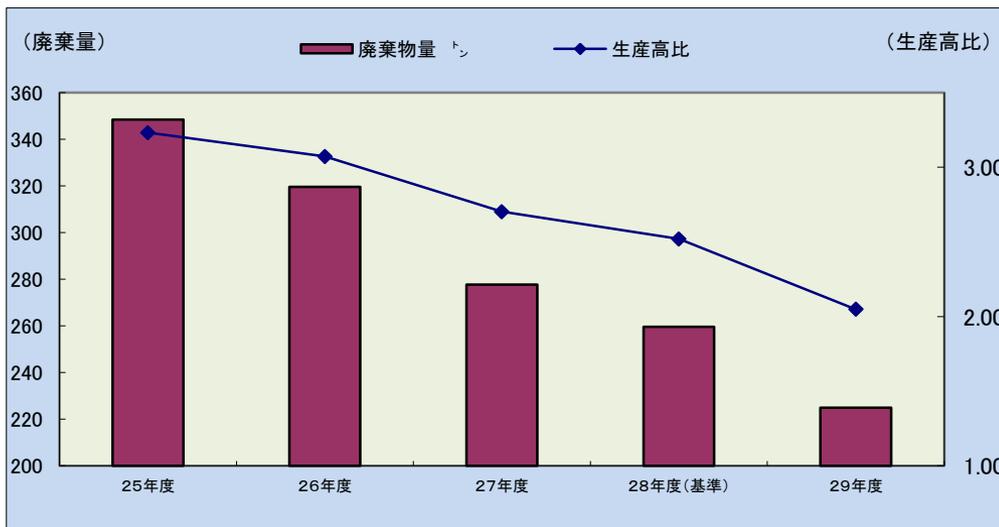
《廃棄物の削減》 目標に対する結果 (IV)

【年度目標】 廃棄物の排出量の削減 <<基準年度より1.0%削減(生産高比)>>

◆目標に対する結果 (伊勢工場群全体)

	特別管理 産業廃棄物	産業廃棄物	一般廃棄物	合計	計画		結果		
	トン	トン	トン	トン	削減率	目標 生産高比	削減率	(生産高)	
28年度 (基準)	3	159	98	260	*	2.52 (基準)	*	*	*
29年度	3	145	77	224	-1.00%	2.50	-18.7%	2.048	目標達成

◆廃棄物排出量の変化



●結果:

- 一般廃棄物は、年度末の処理量が大幅に減少しました。
- 産業廃棄物は、排水汚泥の減量化改善を行ったことにより減少しました。

《地域社会への貢献活動》

29年度 活動

- 玉城工場近くの田丸城址の美化活動参加いたしました。
- 工場周辺の清掃活動を4回開催いたしました。



田丸城跡の活動風景
(写真は28年風景)